



公益財団法人 長崎平和推進協会
<https://www.peace-wing-n.or.jp/>

- 令和元年度 長崎平和推進協会 理事・監事・評議員のご紹介
- 理事長 就任あいさつ ■ 被爆 74 年 平和関連行事の紹介
- 公益財団法人 長崎平和推進協会 平成 30 年度 事業報告
- 被爆体験を「受け継ぐかた」「託したいかた」募集！
- 自分たちが考える国際・平和交流プログラム 企画募集！
- 青少年ピースボランティア活動開始 ■ 来訪者コーナー ■ 会員の広場
- TOPICS! (米国の臨界前核実験に抗議 ほか)



青少年ピースボランティア (原爆資料館いこいの広場)



令和元年度 長崎平和推進協会 理事・監事・評議員のご紹介

5月30日、長崎原爆資料館平和学習室において定時評議員会及び臨時理事会を開催いたしました。
定時評議員会では、平成30年度の協会決算が承認され、任期終了に伴い、評議員、理事・監事が選任されました。また、臨時理事会では、理事長、副理事長が選定されました。
令和元年5月30日以降の理事、監事、評議員の方々は次のとおりです。

【理事 22人】

(理事長) 横瀬 昭幸

(副理事長) 舩山 忠弘

(副理事長) 升本 由美子

池田 道明、石田 謙二、岩満 由美、井原 東洋一、大久保 一哉、

川副 忠子、北川 淳、小出 進、

田中 重光、津田 桂子、中島 昭次、

中嶋 照次、中山 明子、西岡 英樹、

本田 貞勝、本田 魂、松田 斉、

三根 真理子、吉田 睦子

【監事 2人】

佐藤 宏文、城 竜次

【評議員 20人】

尼崎 正明、池本 仁史、井本 義親、

内田 伯、桑原 伸良、佐々木 光健、

佐藤 友治、柴田 幸穂、田中 法斉、

中川 正仁、永橋 勝巳、舩本 貴之、

堀川 幸一、前島 慶太郎

真島 和博、松尾 恵子、向山 勤、

山崎 健、山本 正興、渡部 明

(※敬称略)

長崎平和音楽祭 vol. 34

日時 7月27日(土) 14時～16時

場所 長崎市平和会館ホール

主催 長崎平和音楽祭実行委員会

共催 長崎平和推進協会

入場料 一般 1,000円 中高生 500円 小学生無料

ジャズ、クラシック、歌謡曲まで昭和・平成の名曲セレクション。音楽の力で平和のメッセージをお届けします。

平和音楽祭事務局 ☎ 095-823-9373



写真展「写真で見る被爆体験記」

期間 7月29日(月)～8月19日(月)

8時30分～18時30分

初日：13時から 最終日：15時まで

場所 追悼平和祈念館 交流ラウンジ

主催 長崎平和推進協会写真資料調査部会

協力 追悼平和祈念館、長崎平和推進協会音楽部会



写真には、被爆の実相を広めることができる訴求力があります。今回の原爆写真展では、被爆者が歩いた経路で見たであろう光景の写真と、被爆者の手記を合わせて展示します。

長崎平和推進協会 ☎ 095-844-9922

★ 29日13時からのオープニングでは、当協会音楽部会による演奏も行われます。

長崎原爆忌平和祈念俳句大会

日時 8月3日(土) 13時～16時30分

場所 原爆資料館 平和学習室

主催 長崎原爆忌平和祈念俳句大会実行委員会

後援 長崎平和推進協会

長崎原爆忌平和祈念俳句大会実行委員会 ☎ 095-857-3206



被爆74年 平和関連行事の紹介

74年前の8月9日、長崎に原子爆弾が投下され多くの方が亡くなりました。この夏に行われる当協会が関係する平和関連行事をご紹介します。この機会に、改めて原爆の悲惨さ、平和の尊さを考えてみませんか。

長崎おきあがりこぼし展

期間・場所

7月21日(日) みらい長崎ココウオーク

8月3日(土)～31日(土) メガネのヨネザワ浜町店

主催 長崎平和アートプロジェクト

後援 長崎平和推進協会

被爆地や災害地への支援メッセージを込めて、地元アーティストが絵付けした福島の伝統民芸品「おきあがりこぼし」を展示します。

また、世界にひとつのおきあがりこぼしを創るワークショップも行います。

(7月21日、8月3日・4日)



長崎平和アートプロジェクト事務局 ☎ 095-894-9970



理事長 就任あいさつ

この度、あらためて理事長を務めさせていただくこととなりました横瀬でございます。

私は、これまで副理事長を6年間、理事長を16年間、務めてまいりましたが、今回の改選により、気持ちも新たに、改めて責任の重さを感じているところでございます。

長崎平和推進協会は、公益財団法人として高い公益性とともに、大きな社会的責任も担っており、当協会の各事業を円滑に運営できますのも、長崎市をはじめ数多くの会員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当協会は、「核兵器廃絶と世界恒久平和」の実現に貢献するという社会的使命（ミッション）に基づき、被爆体験講話者や平和案内人の派遣をはじめとする平和推進事業を市民の皆様と力を合わせて実施してまいりたいと考えております。

特に、被爆者の高齢化進むなか、被爆継承に重点を置き、積極的に事業の展開を進めているところであります。

最後に、協会の運営に關して、市民の皆様のご支援とご協力を切に願ういたしました。就任のあいさついたします。



理事長
横瀬 昭幸

原爆資料館・追悼平和祈念館 開館時間延長（20時まで）

期間 8月7日（水）～9日（金）

追悼平和祈念館にある約7万個の追悼の明かりが灯る地上部の水盤も20時まで開放しています。

被爆体験を語り継ぐ 永遠の会による 追悼空間での常駐朗読



期間 8月8日（木）～9日（金）
9時～19時

場所 追悼平和祈念館 追悼空間

ご希望に応じて5分ほど追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記を朗読します。この2日間に限り、追悼空間で行います。

朗読会「9日を忘れない」

日時 8日（木）11時2分～、9日（金）13時30分～

場所 原爆資料館 いこいの広場

追悼平和祈念館 ☎095-814-0055

第57回原爆忌文芸大会

日時 8月10日（土）13時～16時

場所 長崎ブリックホール3階 会議室ほか

主催 長崎国際文化協会 後援 長崎平和推進協会

★8月2日～10日は長崎ブリックホール2階ギャラリーにて入賞作及び選者詠展示会を開催

長崎国際文化協会 ☎095-822-2366

折り鶴再生画用紙子どもの絵・書展

期間 8月12日（月・休）～31日（土）

場所 原爆資料館 いこいの広場ほか

主催 長崎平和アートプロジェクト

後援 長崎平和推進協会

長崎平和アートプロジェクト事務局 ☎095-894-9970



第二回長崎平和祈念茶会

日時 8月4日（日）10時～16時

場所 原爆資料館 いこいの広場

主催 茶道裏千家淡交会長崎支部

後援 長崎平和推進協会

茶道裏千家淡交会長崎支部 ☎090-9409-7285

キッズゲルニカ

INながさき国際子ども平和壁画展

期間 8月6日（火）～31日（土）

場所 原爆資料館 いこいの広場ほか

主催 長崎平和アートプロジェクト

後援 長崎平和推進協会

長崎平和アートプロジェクト事務局 ☎095-894-9970



平和の灯（ともしび）

日時 8月8日（木）18時45分～20時30分
（雨天の場合は延期）

場所 平和公園内 平和の泉

主催 平和の灯実行委員会

平和の願いを込めたメッセージ等を書いた約5千本のキャンドルを点灯します。コンサートやバルーンリリースも行います。

平和案内人による

原爆資料館・追悼平和祈念館ガイド



期間 8月7日（水）～9日（金）
9時～20時

受付 原爆資料館正面入り口

主催 長崎平和推進協会

★ガイド料は無料です

ボランティアガイド「平和案内人」が原爆資料館や追悼平和祈念館を分かりやすく案内します。この期間のみ、活動時間を延長し、人数も増員してご案内します。

長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指し、皆さまのご協力をいただきながら様々な取り組みを行いました。

啓発事業 1,170,800 円

被爆体験講話者の派遣



被爆の実相を伝えるため、長崎を訪れた修学旅行生等に被爆体験講話を実施した。
 また、原爆について知る機会の少ない県外の方々に被爆体験講話を聞いてもらうため、講話者を派遣した。

派遣実績 1,191 件 (147,416 人)
 ・小学校 526 件 ・中学校 349 件
 ・高校 221 件 ・一般 95 件

【県外自治体等からの依頼】

秋田県秋田市、新潟県柏崎市、千葉県浦安市、神奈川県藤沢市、大阪府八尾市、宮崎県日向市

【長崎県主催事業】

平戸市、松浦市、対馬市、西海市、雲仙市、南島原市、波佐見町
 (県外大学) 九州大学、佐賀大学

国連軍縮週間行事「市民のつどい」



10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせて開催した。

戦時食・エコ風船・折り鶴コーナー、ミニコンサート、原爆被災写真展、ポップコーン・綿菓子コーナーなど

・開催日：10月27日
 ・場所：原爆資料館階段下広場

県外原爆展の共催

県外の方々に原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらうため、開催都市・長崎市との共催で原爆展を開催。継承部会員と写真資料調査部会員を派遣した。

青森県八戸市、山形県山形市、香川県高松市

講演会の開催



会員及び市民に世界恒久平和への認識を深めてもらうため、講演会を実施した。

設立記念事業

松瀬学氏講演会「平和とスポーツ」

・開催日：2月10日
 ・場所：長崎原爆資料館ホール
 ・入場者：約200人

原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行等の事前学習や写真展等の開催に役立ててもらうため、貸し出しを行った。

・写真パネル：18件
 ・DVD（ビデオ）：158本

長崎原爆資料館図書資料整理事業

経常費用 5,288,475 円

長崎市から原爆資料館図書室における資料収集整理業務を受託し、専任の司書を配置し、原爆・平和に関する図書資料の整理・選定、情報発信を行うことにより、協会の目的である平和推進に取り組んだ。

長崎原爆資料館運営事業

経常費用 17,101,777 円

長崎市から原爆資料館の観覧料徴収及び受付案内の業務を受託し、原爆資料館を訪れる世界の人々に核兵器の脅威を広く伝え、協会の目的である平和推進に取り組んだ。

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

経常費用 288,553,421 円

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、平成15年に開館した追悼平和祈念館の管理・運営や、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を実施した。

遺影の登録、証言等の収集・映像制作、海外原爆展、被爆体験記朗読ボランティア、ピースネット、平和ボランティア育成外国語講座、長崎国際平和映画フォーラム など



平和推進事業

経常費用 32,035,969 円

育成事業 6,595,931 円

平和案内人の派遣



原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆遺構のガイドを行う平和案内人の育成・派遣に取り組み、第1期から第6期までの160人が活動した。

【利用者数】

原爆資料館常駐 10,629 人
原爆資料館予約 1,661 人
碑めぐり 8,965 人
(計：21,255 人)

アジア青年交流事業



県内の高校・大学生3チームが提案した平和に関する企画を公開の審査会で認定し、若者自身が取り組んだ。

- ・活水高等学校平和学習部「ふりそでプロジェクト」
- ・長崎県立大学金村ゼミ「Peace Piece プロジェクト」
- ・長崎純心大学「Green Pieces」

部会活動

平和意識の啓発・高揚を図るために、協会会員で組織する4部会が自主的な活動を行った。

- ① 継承部会 (47人)
- ② 写真資料調査部会 (9人)
- ③ 国際交流部会 (27人)
- ④ 音楽部会 (11人)

平和活動支援、秋月グラント

協会の活動趣旨と合致する活動に対して共催・後援及び助成を行った。

【共催】

ピースボランティア育成事業、外国人による日本語弁論大会、国際平和シンポジウム2018、長崎平和音楽祭

【秋月グラント】

長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展

発刊事業 972,410 円



会報「へいわ」(年4回)、協会の事業概要をまとめた「平和のあゆみ」(年1回)、情報BOX(毎月)の発行、会員勧誘リーフレットを作製した。また、LINE公式アカウントに登録し、10月よりイベントなどの情報発信を行った(毎週月曜日)。

調査研究 2,700 円

8月に広島市で開催されたピースマッチで平和のメッセージを発信するため、継承部会員と職員を派遣した。また、「さが桜マラソン2019大会」で長崎平和マラソンの事前調査を行った。

その他費用 23,294,128 円

収益事業

経常費用 19,352,917 円



原爆資料館内ミュージアムショップ

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆資料館内のミュージアムショップで原爆に関する書籍や平和グッズを販売した。平成30年度からは、オリジナルトートバッグや管田さんの折り鶴ビーズアクセサリーの販売を開始した。また、オンライン販売なども行い、長崎市ふるさと納税の返礼品にも登録し、好評を得ている。今年度は1,121,954円を平和推進事業等へ繰り入れ、収益事業の目的を果たした。



- 書籍売上：9,061,340 円
- グッズ売上：12,460,314 円

その他管理運営に係る費用

経常費用 2,401,125 円

社会保険労務士、税理士等の専門家から助言を受けて、法人運営を的確に運営するとともに、法人の理事会、評議員会、各種委員会等を開催した。また、職員が公益法人についての研修を受けるとともに、その後事務局の職員を対象に研修報告を行い、職員のスキルアップを図った。



被爆体験を「受け継ぐかた」「託したいかた」募集!

ピースボランティアとして平和活動をする中で、「もっと平和のためにできることを」と思いこの活動を始めました。

私は丸田さんの被爆体験を受け継ぐため、丸田さんにたくさん話を聞き、現在、長崎商業高校の皆さんが作った紙芝居を使いながら講話を行っています。まだ2回目ですが、原爆をあまり知らない方たちに熱心に話を聞いていただき、平和への思いが伝わり、広まっていると実感しています。話し方一つで、被爆者の方が当時見たもの、聞いたもののイメージと異なってしまうので、当時の様子にできるだけ近づけるように気をつけています。

今後活動の幅を広げ、多くの方に被爆体験を伝えていこうと思います。

原爆投下から74年が経ち、被爆者の高齢化が進み、被爆者本人が体験を直接語る機会が少なくなりつつあります。この忘れてはならない体験を後世に継承するため長崎市が平成26年度に始めた「語り継ぐ被爆体験推進事業」を、今年度から当協会が委託を受けて実施しています。この事業では、被爆体験を受け継ぐ方、体験を託したい被爆者の方を募集します。9月21日・22日には、受け継ぐ方、託したい方の交流会を開催します。家族や周りに被爆者がいない方でも、交流会でたくさん被爆者の話を聞くことができますので、興味のある方は是非ご参加ください。また、受け継ぐ方が被爆体験を聞き取って原稿作成する際の支援のほか、パソコンや話し方など講話に必要な研修も行います。これまでご自分で被爆体験を語ったことがない方もお気軽にお問い合わせください。

体験を語り継ぎたい方、体験を託したい被爆者の方との交流会を開催!

- ◆ 募集期間 8月30日(金)まで
- ◆ 募集対象 被爆体験を継承したいと考える方
- ◆ 交流会日時 ①9月21日(土) 14:00~16:30
②9月22日(日) 14:00~16:30
- ◆ 開催場所 原爆資料館平和学習室

※詳細は当協会のHPをご覧ください。



交流証言者
坂本薫さん

被爆者
丸田和男さん

アジア青年平和交流事業 2019 自分たちが考える国際・平和交流プログラム 企画募集!



アジア青年平和交流事業とは?

当協会設立20周年記念事業として平成15年にスタート。当初は長崎と韓国、マレーシアの青年との相互訪問による交流を図っていましたが、平成23年からは若者自身が企画するプログラムを応援する事業となりました。

【昨年度の応募企画】

- 平和に「ふれる」をコンセプトにWeb向け動画を制作
- 人工知能(AI)を使って原爆写真を色付け
- 外国人と若者が一緒に平和について考える「Peace Forum」を開催

★実際に取り組んだ企画の成果報告会は、来年3月に開催予定です。

当協会では、世界恒久平和の実現には長崎の若者と隣接諸国の若者との交流や相互理解を深めることが極めて重要だと考え、アジア青年平和交流事業を続けています。昨年度は3チームより応募があり、若者らしい様々な事業を行いました。今年も、「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」をテーマに自由な企画を募集します。長崎の若者の力を発揮してみませんか？

また、応募された企画の発表・審査会も開催します。長崎の若者の企画力を是非ご覧ください。

「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」企画募集!

- ◆ 募集期間 7月1日(月)~8月30日(金)
- ◆ 募集対象 長崎県内の高校生、大学生
- ◆ 発表・審査会 9月7日(土) 13:30~
追悼平和祈念館交流ラウンジ

※詳細は当協会のHPをご覧ください。



青少年ピースボランティア活動開始

今年度から長崎市より委託された青少年ピースボランティア育成事業では、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図るため、15歳から30歳までの青少年が被爆の実相や戦争について学び、さまざまな視点から平和について考え、行動しています。

そのほかに、平和出前講座として、長崎市内の学童クラブでの平和学習会や、市内中学校、留学生との交流会など様々な機会でも平和を発信していきます。また、鹿児島・沖縄など他県の戦争の歴史も学習する予定です。



ピースボランティアは、被爆体験講話の聴講、被爆建造物等の見学等により長崎原爆について学んでいます。また、原爆の惨状や平和の尊さを伝えるため、全国の小・中・高校生等約400人が長崎に来て平和学習を行う「青少年ピースフォーラム」の企画運営の準備にも取り組んでいます。



ピースボランティアってな～に？

ピーボ参加者★中島麗奈さんに聞きました！

- 1 ピースボランティアに参加しようと思ったのはどうしてですか？**
同世代の若者が大勢集まって活動できるということに魅力を感じたからです。
- 2 平和活動やボランティア活動をしたことがない人が参加するのは難しいですか？**
今までそういった活動をしたことがない方もたくさんいらっしゃいます。ピースボランティアの先輩方は、小さな疑問にも気軽に詳しく答えてくれます。
- 3 活動を通してどういったことを感じましたか？**
1つのことをみんなで作りあげることが多いので、とてもやりがいを感じています。毎年8月8日、9日に行われるピースフォーラムなどでは、自分の言葉で平和や長崎原爆、またそれ以外の戦争について伝えることができるためすごく自信になります。
- 4 被爆者がだんだん少なくなってきましたが、今後どういったことをしようと思いますか？**
私たちは被爆者の方の生の声を聞くことができる本当に最後の世代だと思います。もう二度と74年前のようなあの悲劇を繰り返さないために、私たちがしっかりと被爆者の方のお話を聞き、それを後世に繋ぐことが必要だと思います。

来訪者コーナー



松村克弥監督

映画監督の松村氏が、当協会を訪問されました。「サクラ花一桜花最期の特攻」「ある町の高い煙突」の作品で有名な監督ですが、現在、1959年に岸田演劇賞などを受賞した「マリアの首」（田中千禾夫作）の映画化に取り組んでいます。映画名は、「光のマリア一幻に長崎を想う曲」として、長崎市内でのロケも予定されています。同監督からの要請を受けて、映画「光のマリア」を応援する会の呼びかけ人の1人に当協会の横瀬理事長もなることになりました。マザーテレサは、長崎原爆資料館を訪問して「原爆は悪魔の行為です。核を作った人は、どういう結果をもたらすのか、ここを見て欲しい」と語りました。同監督は、「原爆の恐ろしさを忠実に描き、長崎を最後の被爆地にという想いを世界に発信していきたい」と訴えました。

No. 10



お便りをお寄せください！

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内をお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp
〒852-8117 長崎市平野町7-8
長崎平和推進協会「会員の広場」係



Peace Wing Nagasaki 会員の広場

祖父から戦争の話ー自身の大陸での戦いの日々、空母に乗り太平洋で戦死した兄のことなどーを、興味を覚えていた小さな私は目を輝かせながら聴いて育ちました。被爆者でもあった祖父はある日、あの日の長崎で見たことや経験したことを静かに語り、「被爆の惨状は戦場での体験をはるかに超えるものであった。真坊（私の呼び名）たちは戦争という手段は二度と選択するなよ」という言葉を伝えてくれました。

体験者は高齢となり、直接に聴くことができる時間は本当に少ないですが、戦争、核兵器の使用が平然と公言されるなかで、貴会の方の世代、そして内外に語り継ぐ活動に今後も強く賛同します。会員になって11年。手元に届く会報が楽しみです。

坂口 真一

米国の臨界前核実験に抗議

米国が2月に臨界前核実験を実施したことに対し、5月29日横瀬理事長名で「被爆者の想いを踏みにじるもの」であり、「核兵器廃絶を求める国際社会の声に水を差すもの」だと抗議する文書を、米国トランプ大統領と在日米国大使館のハガティ大使宛てに郵送しました。

抗議文では、「今回の実験は、核態勢の見直しにおける核兵器の役割拡大の方針を着実に推進するものであり、核兵器の使用リスクを高めかねない行為」として強く抗議するとともに、全ての核兵器関連の実験を放棄して、地球上から核兵器をなくすため共に歩んでいただくよう要請しました。

「被爆者健康講話」が始まりました

長崎大学原爆後障害医療研究所と連携して、健康維持に役立つ健康講話を来年3月まで毎月1回(第3木曜日を原則として全10回)、長崎会場と五島会場で開催します。どなたでもご参加いただけます。

(長崎会場) 追悼平和祈念館地下2階交流ラウンジ
(五島会場) 福江総合福祉保健センター2階研修室

問合せ 追悼平和祈念館 ☎ 095-814-0055

ポーレ・サヴィアーノ ポートレート(肖像写真)作品展

追悼平和祈念館の地下1階回廊にて、アメリカの写真家サヴィアーノ氏の常設展示が始まりました。10年以上に渡って世界中で被爆者や空襲体験者を撮影する中で、長崎の被爆者の写真15点を展示しています。



原爆死没者名簿風通し



5月22日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿の風通しが行われました。11時2分に黙祷を捧げ、名簿を一枚ずつめくって外気にあてました。風通しを終えた名簿183冊(179,284人分)は、追悼空間の名簿棚に収められ、8月9日の平和祈念式典で奉安されます。

しを終えた名簿183冊(179,284人分)は、追悼空間の名簿棚に収められ、8月9日の平和祈念式典で奉安されます。

原爆死没者の遺影・氏名登録 及び体験記募集

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館では、原爆で亡くなった方のご遺影やお名前の登録(原則遺族の方から)を募集しております。お寄せいただいたご遺影やお名前は、長崎・広島の両祈念館で公開いたします。また、被爆の実相を後世に伝えるために、被爆体験記も募集しております。皆さまのご協力をお願いいたします。

問合せ 追悼平和祈念館 ☎ 095-814-0055

世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	フランス	中国	英国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
2018年6月1日	~6,850	~6,450	300	270	215	80	~140	120~130	10~20	~14,450
2019年6月1日	~6,500	~6,185	300	290	215	80	~150	130	20~30	~13,880

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

会員数報告

- ◎維持会員 1,057人
- ◎賛助会員 1,500人
- ◎学生会員 10人

(令和元年6月28日現在)

賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。
ご支援・ご協力誠にありがとうございます。

寄付者紹介

ありがとうございます

- ◎緒方 操 (敬称略) 二万七千円
- ◎山中 弘幸 一万円
- ◎匿名 六人 四万六千円

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。
今年度また会費を納めていただけない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入ください。よろしくお願いいたします。
お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。だくか、事務局までご連絡ください。

